

## 本沢温泉山行報告

- <山城> 八ヶ岳連峰  
<日程> 10月28, 27日  
<メンバー> 澤田路、大木、澤田淳（記録）  
<行程> 1日目 稲子湯～本沢温泉  
2日目 本沢温泉～稲子湯

二日間とも雨の予報は、わかっていたが、今回は、Mさんのリハビリ山行がメインなので、Mさんは、本沢温泉まで。少しでも雨が上がればふたりで、硫黄岳と計画した。結果、雨で硫黄岳は中止し、温泉三昧と本沢温泉の濁り酒飲みほうだいとしらびそ小屋コーヒブレイクののんびり山行となった。

28日、このお天気で、稲子湯駐車場は、空いている。7時35分稲子湯出発。すぐに雨が落ちてきて、カッパを着る。トロッコ線路と沢沿いの気持ちの良い道が続く。冬しか通ったことがなかったので、線路があることも綺麗な沢沿いだったことも初めて知る。

あつという間に大好きなしらびそ小屋に到着。コーヒを頼むとすぐにおじさんが、豆を挽いてくれる。Mさんお手製のケーキといただく。美味しい！窓ガラスのむこうには、愛らし



やっ  
ては、私  
しく上  
らNH  
のこと  
リスも  
リの種  
花生に

いリスとホシガラスが、ヒマワリの種をもらいにせつせとくるのが見える。ウーン何とも至福の時間である。お客さんたちと若いお兄さんたちだけ。おばさんたちに随分とやさ品に話しかけてくださるので、不思議だなあと思っていたK山番組の取材班の方々であった。前回の南アルプスの番組など談笑。

ホシガラスもお兄さんが、落花生をあげると、なんとヒマワリには見向きもしなくなり落花生を選んで運んでいく。落目がない私は、リスたちの気持ちがよくわかる。リスもホシガラスも美味しいものは、わかるのだ。小屋をでてノロノロ歩いても12時45分には、本沢温泉到着。小屋は、増築され外の温泉小屋



も綺麗に立て替えら屋には紅白の垂れ幕のおふるまいなのでとも飲めないわけでもなんとも美味しいの談笑。これも楽しい。泉に入ったことがな河原に向かう。相変わらず脱衣所も屋根もない温泉だ。白濁したお湯を見ているとどうしても入りたくなるの



が、人情というもの。傘の下に服を入れ、約2名、勇気(?)を出して入る。貸切の雨の温泉も乙なものである。本沢温泉を8時10分出発し、しらびそ小屋で、またまたコーヒブレイクを楽しみ、大好きな中村みつをさんのかわいいリスやホシガラスのイラストのバンダナや手ぬぐいを爆買い。おばさんが、

中村みつをさんの絵葉書をおまけにくださる。稲子湯到着12時半。当然稲子湯にもゆっくりつかり帰葉。のんびりすぎて寿命がまた延びちゃったかな?行きも帰りも一人で運転してくれた大木さんにいつもながら感謝です。